

1. 件名：福島第一原子力発電所におけるサブドレン及び地下水ドレンの稼働状況等に係る面談

2. 日時：令和3年3月19日（金）13時30分～15時20分

3. 場所：原子力規制庁 18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

市森係員

知見主任安全審査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当4名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社から、サブドレン及び地下水ドレンの稼働状況等に関して、主に資料に基づき説明があった。

- サブドレン・地下水ドレンの稼働概要、水位変動
- サブドレン及び地下水ドレン（ウェルポイントも含む）汲み上げ量
- サブドレン・地下水ドレンの水質
- 地下水ドレン中継タンクの水質
 - ✓ 地下水ドレンのトリチウム濃度のトレンド
- 2月13日の福島県沖地震後の詳細点検
 - ✓ 1・3号機原子炉格納容器の水位低下に伴い、当面の間、原子炉建屋周辺のサブドレン水質の分析頻度を高めて、毎週影響を確認する。

○原子力規制庁は、上記の説明内容を確認するとともに、内部が凍結していたサブドレンピットNo. 56の運転が再開されたことについて、当該事象への対応状況を整理して説明することを求めた。

6. その他

・資料：

- サブドレン稼働状況について
- 地下水ドレンの稼働状況について